

2 - 4 番組紹介メール

4月

みなさん、こんにちは、

「それ行け！調布のおばさん」を制作していた女性たちが
中心になり、「みんな de ねっと（パート2）」を立ち上げて、

F Mラジオ放送番組 「調布わくわくステーション」

を4月4日からスタートさせることになりました。

「調布わくわくステーション」4月4日（日）の放送予定

<調布 FM 83.8MHz>

<12時30分～12時40分>

お客さまは

永川 孝一さん じんだいフェスタ 2004 実行委員会委員長

富澤 毅さん 調布青年会議所専務理事

4月3日（土）から、「じんだいフェスタ2004」が、神代植物公園の
大芝生と深大寺・深沙堂前の広場（水神苑と青木屋の間）を主会場
にして始まります。

そこで、イベントの実行委員会永川委員長と実行委員会の中心に
なっている調布青年会議所富澤専務理事に、フェスタの目的やイベ
ントの内容を伺います。

コンサートや桜のライトアップ、美味しい食事、沢山の催し物ありで
楽しそうですよ。

「調布わくわくステーション」4月11日（日）の放送予定

<調布 FM 83.8MHz>

<12時30分～12時40分>

お客さまは 能勢 由緋子さん

今をときめく「うたごえサロン」の能勢さん 登場です。

私たちの青春時代に（能勢さんはずーっとお若いのですが）

彩りを添えた”うたごえ運動”、”うたごえ喫茶”。今”うたごえ”が蘇っているんですね。

能勢さんは、1年も前から活動をはじめて、調布に”うたごえ”を蘇らせたご本人。会場を国領から「たづくり」に移した頃、朝日新聞で紹介された効果もあって、毎回会場に入れない人も出るほどの盛況で、3月からは例会を月に2回に増やしています。11日は、「うたごえサロン」を始めたお話しなど 伺えそうです。

でも、能勢さんのブティックはどうしていますか？パソコンで自作した、お店のきれいな紹介葉書を示しながら、「お茶を飲みにいらっしゃって下さい。」と誘われていました・・・

次の

「調布わくわくステーション」放送予定は 4月18日(日)

お客さまは 尾辻 義和 さん

< 調布 FM 83.8MHz >

< 12時30分～12時40分 >

尾辻さんって、あのぎよる目の“尾辻”さん？たしか、IT関係のお仕事をやっていて、自然環境保護に熱心な人と聞いた気がするけど、その尾辻さんがなぜ“地域通貨”なの？そもそも“地域”通貨 って何なの？貯めておくと目減りするお金って、どういうこと？

こんな疑問に答えながら、尾辻さんが何故“地域通貨”に惚れたのか、惚れた魅力は何だったのか、などを聞かせて頂けるようです。

この機会に、古くて新しい“地域通貨”のことを少し勉強してしましましょう！共感できたら、仲間入りしましょう！

次の

「調布わくわくステーション」放送予定は 4月25日(日)

お客さまは 山岸 絹子 さん

<調布 FM 83.8MHz>

<12時30分~12時40分>

山岸さんは、デンマークINN深大寺の施設長さんです。

??デンマークINN深大寺?・・・そんなホテル、調布にあった?

No. ホテルじゃなくて、「有料老人ホーム」です!

福祉先進国のデンマークに見習ってつくられた老人ホームだそうです。

6年前に、女性海外交流事業に参加して短期留学した先がデンマークだったことが、山岸さんが福祉施設に関心を持つきっかけになり、デンマーク式ホームづくりにかかわることになったのだそうです。

毎月ホームで開かれる「クラシックコンサート」やボランティアの事、デンマークと日本の違い等いろいろ伺いましたと、インタビューさんが話しておりました。

5月

こんどの

「調布わくわくステーション」放送予定は 5月2日(日)

お客さまは 沖崎 剛 さん

<調布 FM 83.8MHz>

<12時30分~12時40分>

沖崎さんは建築家。建築の専門家の目で、街のバリアフリー化を目指しています。福祉関係の委員をやったこともありましたが、今は、NPO法人・調布まちづくりの会の中に作った「まちのバリアフリー部会」

のリーダーとして、障がいのある方などと一緒に、調査や勉強など、もっぱらボランティアとして大活躍しています。

最近、5月8日(土)の午後(14~17時)、たづくり12階で、開催する第1回ワークショップ「みんなで話そう調布のバリアフリー」の準備で大忙しとのこと。皆さんも立ち寄ってみては!

沖崎さんは絵も好きです。市内の名所や街角のスケッチもたくさん描いています。また、市内に残っている「蔵」をくまなく調べて、写真集も作っていました・・・そんな趣味の話まで伺えるのかなー?

今度の

「調布わくわくステーション」放送予定は 5月9日(日)

お客さまは ボーイスカウトの 名古屋 さん

<調布 FM 83.8MHz>

<12時30分~12時40分>

ボーイスカウトの制服って目立ちますよね。動作もきびきびしてすがすがしいです。制服の一団を屋外で見かけることが多いのは、ボーイスカウトが「楽しみながら体力をつくる」ことに重点をおいて、活動も山登りやハイキング、街の掃除やスケートなど、野外活動が多いからのようです。

名古屋さんはボーイスカウト歴20年以上のベテランで、現在は調布第3団の団員長さん。ボーイスカウトの生い立ちや現状、夏の楽しい計画など紹介頂けるそうです。

次は5月16日(日)、深大寺蕎麦の 嶋田 太郎 さん です。

今度の

「調布わくわくステーション」放送予定は 5月23日(日)

<調布 FM 83.8MHz>

<12時30分~12時40分>

お客さまは 農家の 関森 道子さん

調布ヶ丘地域福祉センターの横に、ビニルハウスや緑の畑が広がっています。今は夏野菜のトマト、キュウリ、小松菜、大根などが生育盛りで、関森さん一家は、早朝から収穫や手入れで大忙しです。直売所も賑わっています。23日は、きっと、野菜づくりへの思いやこだわりを話して下さいでしょう。

畑の北側を野川が流れています。実は、関森さんは、野川の桜ライトアップ・ボランティア活動の、隠れたリーダーなのです。大勢のボランティアが集まるのは、関森さんの人柄のおかげ。インタビューの時間があれば、ライトアップの話も聞けるかも知れませんよ。お楽しみに。

6月

今度の「調布わくわくステーション」

お客さまは 歯科衛生士の池田勝子 さん

放送予定は 6月6日(日)

<調布 FM 83.8MHz>

<12時30分~12時40分>

8020運動って、何か知ってますか？

いつまでも丈夫な歯でいたい、とは誰でも願うこと。治療もちろん大切ですが、予防はもっと大事と、いつも池田さんはおっしゃっているようです。

8020とは何？歯を病気から防ぐ大事なポイントは何？
はい、日曜日をお楽しみに。

今度の「調布わくわくステーション」

お客さまは やあやあネット代表の臼田典子さん

放送予定は 6月13日(日)

<調布 FM 83.8MHz>

<12時30分~12時40分>

お子さん3人を育てて、ちゃんと新宿区役所で仕事もし、ヒップファミリークラブでボランティアをやり、その上ボランティアの連携組織・やあやあネットの代表もやっているのが臼田さんです。本当にいつも忙しそうだけど、そのパワーと心優しさには感心します。野川の桜ライトアップの時も、最後の後片づけまで手伝って頂きました。

その臼田さんたちやあやあネットが今取り組んでいるのが11月に染地小学校で開催する「やあやあドリームオールスターズ」と言う子供参加のイベント。

13日は、このイベントの話や、やあやあネットのことなど聞かせて頂けそうです。ボランティア活動に関心のある方、聞き逃さないで下さいね。

今度の「調布わくわくステーション」

お客さまは 東京グレースの中島 雪江さん

放送予定は 6月27日(日)

<調布 FM 83.8MHz>

<12時30分~12時40分>

「東京グレース」って、車椅子のバスケットチームなのです。私も車椅子バスケットをTVで見たことがあります。狭いコートの中を、衝突することもなく、くるくる動き回れるのに驚いたことがあります。健常者の選手では背の高い人が多くネットの上まで手が届く程なのに、車椅子用はどうなっているのだろなどと思ったりしていました。

中島さんは、車椅子バスケット歴20年以上のベテランだそうで、海外遠征も何度もやっていらっしゃるとのこと。楽しいお話しやらバリアフリーの体育館探しの悩みやら、いろいろ伺えるようです。

7月

今度の「調布わくわくステーション」

お客さまは オペラも歌う 渡辺 里人 先生

放送予定は 7月4日(日)

<調布 FM 83.8MHz>

<12時30分~12時40分>

オペラも歌うバリトンの渡辺先生。毎年、グリーンホールやたづくりでコンサートも開いているそうですが、本職は深大寺東町で開業している内科医さん。でも、地域医療では専門にこだわるべきではないと、自称「人生科」医だそうです。コンサートには、在宅の患者さんをお招きし、会場には看護婦さんがボランティアで待機して下さるとか。

お医者さまが、なぜオペラ？そんなこと、尋ねるだけヤボなことかも知れませんが、気になりますよね。・・・7月4日をお楽しみに！

今度の「調布わくわくステーション」

お客さまは 桂井 晴代 さん

放送予定は 7月11日(日)

<調布 FM 83.8MHz>

<12時30分~12時40分>

最近住宅街を歩いていると、「お茶とケーキをどうぞ！」とか、「お食事メニュー」等の看板を時々見かけます。庭にテーブルがあったり、部屋も開放的であったりしますが、造りは普通の民家なのです。

桂井さんもそのような自宅を使い、こだわりの手作りケーキでおもてなしを始めて5年。家が調布ヶ丘にあるので、私も何度かその前を通ったことがあります。そんな時誰もが思うのは、「どんな思いで始めたのだろう？」、「家族はどうなのだろう？」等々。まして、クッキング好きなご婦人には、ますます関心がありそう。

さて、どんなインタビューになるのか、11日が楽しみです。

今度の「調布わくわくステーション」

お客さまは 姫と しもべたち の 愛澤 法子 さん

放送予定は 7月25日(日)

<調布 FM 83.8MHz>

<12時30分~12時40分>

フォークポップスのバンドをつくっている愛澤 法子さんは、調布市視覚障害者福祉協会の会長さんでもあるのです。この協会は視覚障がい者の自立や社会参加の支援をしているところ。

愛澤さんが歌作りや弾き語りを始めたのは、友だちの結婚披露宴でスピーチを頼まれたことがきっかけとのこと。自作自演でやってしまったことが楽しくて、バンド「姫と しもべたち」の結成へと走ってしまったようです。

25日は、1曲聴かせて頂けるようですよ。

今度の「調布わくわくステーション」

お客さまは ジャングル・ビーンズの 長尾 こうへい さん

放送予定は 8月1日(日)

<調布 FM 83.8MHz>

<12時30分~12時40分>

ちょうふのおばさんたちが、FMの番組づくりに挑戦し始めて1年が過ぎました。気分も一新、やる気もチャージアップして、2年目のテーマミュージックには「虫のいいはなし」を選定。

今度のゲストは、この曲を作った長尾さんです。長尾さんは調布在住で、本職はチラシ等の制作とのこと。彼のバンド名が「ジャングル・ビーンズ」、もう10年以上活躍しているようです。番組ではこのグループによる演奏で、長尾さんの曲を時間をかけてたっぷり聴かして頂けるようですよ。

アテネオリンピックも開幕まで1週間。

今度の「調布わくわくステーション」

お客さまは

シンクロナイズドスイミング日本代表チームの 藤丸 真世 さん

放送予定は 8月8日(日)

< 調布 FM 83.8MHz >

< 12時30分~12時40分 >

藤丸さんは、国領町にあるアクア スイミングクラブ所属のシンクロ日本代表チームの選手。3才の時から金子スイミング(「アクアクラブ」の旧称)に通って水泳の練習を始め、今はオリンピック出場を控え毎日10時間くらいの練習をやっているそうです。それでも一番難しいのはシンクロナイズすることだそうです。

あれほど水にもぐって、なぜ髪が乱れないの?などなど、女性に身近なお話も伺えるそうです。

オリンピック・シンクロは8/23からデュエット、8/26からチーム競技が始まる予定です。私たちも調布で応援しましょう!

今度の「調布わくわくステーション」

お客さまは バリアフリー映画鑑賞推進団体

City Lights 平塚 千穂子 さん

放送予定は 8月15日(日)

< 調布 FM 83.8MHz >

< 12時30分~12時40分 >

「目が不自由でも映画を楽しみたい。」との声を受けて、日本の映画なら人物の動作や場面の状況を説明する“音声ガイド”、洋画なら字幕の読み上げ。そんな手助けがあれば、視覚障がい者にも映画を楽しんで頂くことができる、と始めたのが City Lights の活動のようです。

平塚さんの活動拠点は北区のようですが、なぜか調布と縁があるらしい・・・きっかけは、2002年の調布映画祭で「風と共に去りぬ」などのバリアフリー上映をやったこと。これは大好評で、以来、調布とは密接な関係ができて、今も調布シネマサロンで音声ガイドの活躍をしていらっしやるようです。

映画の音声ガイドって、ナレーターだったり同時通訳者だったり、勉強することが沢山あるそうです・・・

今度の「調布わくわくステーション」

お客さまは タウン誌「182」の編集長 渡辺弘樹 さん

放送予定は 8月22日(日)

<調布 FM 83.8MHz>

<12時30分～12時40分>

渡辺さんは調布のタウン誌「182」の編集長、と伺って、どこかで聞いたことがあるような気が・・・なんだ、182は調布の郵便番号でした。

1年前に創刊された、隔月発行の無料タウン誌で、順次あの町この町を紹介しているようです。特長はクーポン券が多いこととか。「クーポン券?いいなー」「でも、182って、見たことない。」って?・・・調布駅北口辺(○×堂など)に置いているそうですよ。

今度の「調布わくわくステーション」

お客さまは 手づくり靴の 那住 美穂 さん

放送予定は 8月22日(日)

<調布 FM 83.8MHz>

<12時30分～12時40分>

若い女性の「手づくり靴職人さん」と伺うと、「なぜ靴を自分で作りたいと思うようになったの?」と尋ねたくなりますよね。

那住さんは、小さい頃、装具を付けた友だちを見て、「靴を
どうにかしたら、もっと楽しく遊べるのに！」と感じたことが
忘れられなかったようです。

ある日、足の悪い人が「この職人さんの靴のお陰で、心地よく
歩きました」と話すのを偶然 TV で見て、その靴屋さんを神戸まで
尋ねて、弟子入りしてしまったのだそうです。

「1人でも多くの人が、1歩でも多く歩けるような靴づくり」を
目指して頑張っている那住さんのお話し、聞いてみたいと
思いませんか？

小さい頃日本に憧れ、サムライの国 日本男性のお嫁さんを
夢見たブルガリヤの少女。やがて日本に留学し、夢を実現して
しまったニコロバさん・・・

今度の「調布わくわくステーション」

お客さまは ブルガリヤ人の キリルカ ニコロバ さん

放送予定は 9月5日(日)

< 調布 FM 83.8MHz >

< 12時30分～12時40分 >

あらためて地球儀を見たら、ブルガリヤはギリシャの北、緯度は
日本に近く、経度が90度くらい違っているだけです。でも文化も
生活もかなり異なる遠い遙かな国日本。その日本を好きになった
のは、お父さんが日本について色々話すのを聞いていたからの
ようです。もしかして・・・と、娘たちのことと少しだけ重なって見え
ました。幼い子が理解したとは思わなかったけれど、傍らでアメリカの
話を何度もしたのかも知れない・・・。

7年ほど前、ニコロバさんは日本から奨学金を貰えることになって、
電通大で学ぶようになり、そして物語は展開するのですが、5日の
放送をお楽しみに！

今度の「調布わくわくステーション」

お客さまは 「庭の音」の 斉藤 一吉 さん

放送予定は 9月19日(日)

< 調布 FM 83.8MHz >

< 12時30分～12時40分 >

コンピューターやさんだった斉藤さんが10年前に植木屋さんに転身。そして、「ものぐさガーデニング」と云う本まで出してしまったと云うのですから、なんだか面白そう！

「どうして？」って聞きたくなりませんか？

その斉藤さんのお薦めは、早春から咲く「クリスマスローズ」と赤い実をつける「ジューンベリー」。『ベリーはジャムにもよいですよ。』とのこと。きっと、ものぐさ族にも向いていて、暑さにも寒さにも強いのでしょう。

今度の「調布わくわくステーション」

お客さまは 刻字・書道家の 元木 藤江 さん

(つつじヶ丘)

放送予定は 9月26日(日)

< 調布 FM 83.8MHz >

< 12時30分～12時40分 >

今年の調布「よさこい祭り」は雨にたたられましたが、「舞夢」と染め抜いた はんてん 姿のポスターをあちこちで見かけました。この「舞夢」の文字を書いた方が元木さんです。

毎日書道展で入選もされた刻字家の元木さんは、子ども達にも習字を教えたりと、とても元気に活躍されているように見えますが、実は「膠原病」と云う難病と20年も闘っているそうです。

「3回死に損ねました。人に教えてあげることがあるから、生かされている感じです。」

10月

今度の「調布わくわくステーション」

お客さまは NPO 調布フィルムコミッション 杉浦 直樹 さん
(調布ヶ丘)

放送予定は 10月3日(日)

<調布 FM 83.8MHz>

<12時30分~12時40分>

「私も映画に出たい！」

「大スターと並んで映るかも知れないって？」

こう云う話なら身を乗り出しますよね、きっと。でも、こんな夢も、調布で沢山ロケが行われるようになれば、ぐっと現実味を帯びてきますね。

映画やテレビドラマでは、いろいろな”ロケ地”が使われます。

「どこで撮ろうか？」

「それなら、調布にこんないい所がありますよ。」

と、調布を売り込もうと云うのが“調布フィルムコミッション”。この調布の NPO は発足して間もないのですが、全国各地には、同じように地元売り込み活動をしているフィルムコミッションが、すでに70もあるそうです。

「調布は、東洋のハリウッドと呼ばれたこともあるんだよ。」と、友人から教えられた杉浦さん。この活動に飛び込む契機になったのだそうです。

・・・詳しくは、3日の放送をお聴きください。

10/10の「調布わくわくステーション」

お客さまは シダックスの 中村 真人 選手
(調布ヶ丘)

放送予定は 10月10日(日)

<調布 FM 83.8MHz>

<12時30分~12時40分>

今年の都市対抗野球、残念だったですね。シダックスは堂々ベスト8に入ったのだけれど、昨年の準優勝があるので、

調布中で、今年はもっと期待していましたからね。

でも、うれしいニュースもあったのですよ。せんたーの中村選手が“若獅子賞”に輝いたこと。

大卒1年目の選手と高卒2年目の選手の中で、最も活躍した選手に贈られるのが“若獅子賞”なのだそうです。足も速いし、攻守好打の中村選手は、新人なのに逆転さよなら安打と云う超凄いことをやってのけました。

でも、「あの時は・・・」と、中村選手は話します・・・「緊張でガチガチでした。すると監督が・・・」

さて、野村監督が、どうしたと思いますか？

今度の「調布わくわくステーション」

お客さまは NPO法人 調布市民オペラ振興会
理事長 藤広 容子 さん
事務局長 神崎 幸子 さん

放送予定は 10月17日(日)

<調布 FM 83.8MHz>

<12時30分～12時40分>

・・・なんて冷たい、かわいい手！
私に暖めさせて下さい・・・

こんなアリアから始まる切なくて悲しい愛の物語、オペラ「ラ・ボエーム」の調布公演の準備を進めているのが 調布市民オペラ振興会の藤広さん、神崎さんたち。

オペラといえば舞台装置やオーケストラなど大掛かりな出し物になります。それを、1年おきくらいには調布で公演することを目標に、藤広さんたちは、頑張っているのだそうです。主なキャストやオーケストラはプロのひとたち、市民グループが合唱を受け持つとすることで、11月27、28日の舞台を目指して、合唱練習に励む市民の皆さんも、いま、熱くなっているそうです。

17日のFMでは、藤広さん、神崎さんの熱い思いも伝わってきますよ。

今度の「調布わくわくステーション」

お客さまは 調布市インディアカ連名会長

江沢 幸子 さん

放送予定は 10月24日(日)

<調布 FM 83.8MHz>

<12時30分~12時40分>

“インディアカ”をご存じですか？

「インディアカ？なに、それ？」

と、言われるかも知れませんね。でも、「長い羽根がついた、ぺたんこのボールを、手で打ち合っているの見たことない？」とお尋ねすれば、「あーあ、あれがインディアカなの。」と、おおよそをお察し下さる方も多いのではないのでしょうか。

そうなんです。バレーボールのようにネットを挟んで、正式には4人と4人で対戦する競技ですが、バレーのような突き指の心配もなく、バトミントンのようなラケットも不要で、気軽に、年齢を問わず、誰にでも始められる楽しいスポーツと言われて

います。

江沢さんは20年も前から、このドイツ育ちのインディアカの「とりこ」になっていらっしゃるとのこと。春には30以上のチームが参加して調布市体育館で試合をやったり、夏には筑波で世界大会が開かれたりして、競技人口も年々増えているそうです。11月の市民体育祭には沢山のチームが参加して、また「腕」を競うそうですから、江沢さんのお話しもエキサイトしそうですね。

今度の「調布わくわくステーション」

お客さまは チャリティコンサート「海から海へ」の

実行委員長 田中 和己 さん

放送予定は 10月31日(日)

<調布 FM 83.8MHz>

<12時30分~12時40分>

庄野真代さんを迎えて、「海から海へ」と題するコンサートが11月3日に電気通信大学講堂で開かれる・・・この話、どこかで聞いたことがありましたが、田中瑞樹（みずき）さんの絵を展示する美術館づくりのための、チャリティコンサートなのだそうです。

田中瑞樹さんは、すばらしい絵を描く、知的障がいを持った女性。その美しさに感動した田中和己さんが、お兄さんたちがやっている楽団を招いてコンサートを企画したようです。

田中和己さんは布田一丁目の陶器屋さん「うつわ和季」のご主人。若手商人塾の皆さんと日頃から調布のまちづくりの夢を語っていたことが、今度の実行委員長を引き受けることに繋がったようです。田中瑞樹さんとは親子でも親戚でもなくて、店のあるマンションで出会ったことが縁のようです。

「出会い」の形って、いろいろあって、すばらしいですね。

11月

今度の「調布わくわくステーション」

お客さまは 明大ビジネススクール 木村 哲 教授

放送予定は 11月7日(日)

<調布FM 83.8MHz>

<12時30分～12時40分>

金融関係のシンクタンクから明治大学ビジネススクールの先生に転職した木村さん、まず驚いたことは、受講者が真剣に勉強する姿とのこと。普通の大学では熱心に講義を聴く風景が珍しくなってしまったのでしょうか、夜間に、自分でお金を払って大学に通うほどの人はさすがに違いますね。

大学教授と聞けば、堅物で話しも面白くないと想像しがちですね。でも、なぜ深大寺の蕎麦屋さんは夜まで店を開けないの？とか、60点とれば十分満足、などと何うと、もうちょっとインタビューを聴いてみよう、と思いませんか？

今度の「調布わくわくステーション」

お客さまは 角川大映撮影所
スタジオ事業本部長 小畑 良治 さん

放送予定は 11月14日(日)
<調布 FM 83.8MHz>
<12時30分～12時40分>

大映撮影所前に大魔神と妖怪の大看板が出現しましたが、これは、いま制作中の「妖怪大戦争」のPR用なのでしょう。

「妖怪大戦争」は30年以上前に旧大映の特撮映画として大ヒットしたことがあり、調布在住の水木しげるさんたちが再映画化を熱望したことを受けて、撮り直されることになったようです。大人たちには見えない妖怪が引き起こす事件を、少年と老人(菅原文太さん)が協力して解決する物語らしいです。

小畑さんは、映画全盛期以降の人だとおっしゃっていますが、資料に残っている古いお話しや、最近では シャル ウィ ダンス? がここで撮影されたことなどを紹介して下さいそうです。

調布には大映、日活の撮影所があり、隣接する世田谷には東宝があって、調布の街の中に大道具小道具、照明屋さんから、現像所まで映画関連産業がたくさん集積しています。それでも、映画の作り方、作り手側の仕事を知る市民は少ないと、「もっと知って欲しい、体験して欲しい」と、小畑さんはおっしゃっています。日曜日にお話を聴いてみて下さい!

今度の「調布わくわくステーション」

お客さまは 韓国からの留学生 チョン・イルチュン さん
国際協力協会 天利 かずこ さん

放送予定は 11月21日(日)
<調布 FM 83.8MHz>
<12時30分～12時40分>

韓国の大学を休学し、もっと広く世界のことを知りたくと、朝日新聞の奨学金に応募して昨秋日本にやってきたチョンさんは

小島町の住人。朝2時半に起きて新聞配達のアルバイトをしながら日本語学校に通っているそうです。

天利さんはチョンさんの日本語のボランティア先生。朝鮮語も得意です。天利さんが驚いたことは、韓国女性は、プレゼントはできるだけ大勢の前で目立つように貰うのを喜ぶことだそうです。では、日本でチョンさんが韓国とずいぶん違うなあと感じたことは・・・

(注)私の記憶違いでなければ、先日、李先生のお話しの中で、朝鮮半島の民族や文化を云う時は「朝鮮」を使うのが正しいと伺いました。「韓国語」、「北朝鮮語」と云う区別はなく、「朝鮮語」です。国を指す時は「韓国」、「北朝鮮」となります。

今度の「調布わくわくステーション」

お客さまは 画家の 津田 櫓冬 さん

放送予定は 11月28日(日)

<調布 FM 83.8 MHz>

<12時30分~12時40分>

本屋さんの子どもの絵本コーナーに行けば、津田櫓冬さんが描いた たくさんの絵にお目にかかることができるでしょう。

櫓冬さんには、からだ中、小さい頃の体験や印象がいっぱい詰まっているようです。昔、曇った窓ガラスに指で絵を描いた面白さが画家を志すことになった原因のようですし、日本海に面した京都(府)のある町で育ったことが、形として名前に跡を残しておられます。

櫓冬さんは、子ども時代の感じ方を非常に大事にされていて、絵本を通して、今の子どもたちにそのことを伝えたいと考えているようです。

また、インタビューの中でも、ドイツの児童文学者エーリッヒ・ケストナーの言葉「何が正しく、何が間違っているかを とっさに判断できる人は、子ども時代を覚えている人が、子どもだ。」を紹介して下さったとのこと。

文字に書くと難しそうな話しになってしまいましたが、実際は、分かりやすい対話の中に、キラッとしたものが見えてくると思いますので、どうぞお楽しみに！

12月

今度の「調布わくわくステーション」

お客さまは NPO 法人 日本フィリピンボランティア協会
会長 網代 正孝 さん（延浄時住職）

放送予定は 12月5日（日）

< 調布 FM 83.8MHz >

< 12時30分～12時40分 >

年輩の人ならミンダナオ島ダバオの名前は太平洋戦争（第2次世界大戦）の記憶と一緒に残っていることでしょう。

ダバオには戦前から2万人以上の日本人が、出稼ぎや一旗揚げるために住んでいたと云われています。敗戦後、男は日本に強制送還され、多くの母子が日系であることを隠し、対日感情が厳しい地で悲惨な生活を送ったようです。

お坊さんがフィリピン・ボランティア？

網代さんたちの活動は、最初はダバオへの墓参から始まり（そこに住職・網代さんとフィリピンとの接点があった）、次いで現地の日系人たちを支援することへ、さらに現地の人と協力して地域の課題に取り組むことへと広がって行き、今では、年間数千万円規模の活動を行っているとのこと。規模が大きくなれば、専従者とボランティアの協力が事業の要になるようです。

「人がやってないことをやること」に生き甲斐を見だし、「さきがけることが、面白さになる。夏のダバオへどうぞ。」と、網代さんは呼びかけています。

今度の「調布わくわくステーション」

お客さまは

調布市卓球連盟副会長、駒澤大学卓球部総監督
つつじヶ丘スポーツ少年団コーチ 富岡 成一 さん

放送予定は 12月12日(日)

<調布 FM 83.8MHz>

<12時30分～12時40分>

卓球に生きる富岡選手が出会った最大のアクシデントは26才の時の交通事故。4年間リハビリに努めたが大腿部に障がいが残ってしまったようです。それでも卓球を捨て切れず、健常者に混ざって挑戦を続けて、1986年には全日本社会人選手権の40才代クラスで優勝、国体にも東京都代表として2度も出場するなどの活躍を続けました。

この富岡選手がパラリンピックのことを知ったのは4年前のこと。アテネを目指す決心をし、障がい者の認定を受け、海外転戦を重ねてついに障がいクラス別世界ランキングで4位を獲得、アテネ出場を果たしました・・・富岡さんって、60才間近の人とはとても思えない程、挑戦意欲がある人ですね。

愛ちゃんが調布に来た影響やら、「高齢者にもいいんですよ。卓球する人でぼけてる人はいませんよ。」などなど、富岡さんから卓球の世界について色々な話を伺えるようです。

今度の「調布わくわくステーション」

お客さまは

バリアフリー映画鑑賞推進団体
シティライツ 石川 嗣郎 さん

放送予定は 12月19日(日)

<調布 FM 83.8MHz>

<12時30分～12時40分>

視覚障がい者もパソコンを使いますし、映画も楽しめます。見えない情景も「音声ガイド」があれば、イメージすることができるのですね。

石川さんは、障がい者がパソコンを学ぶサポートをしていた

時に、シティライツのことを知り、音声ガイド・ボランティアの世界に飛び込みました。活動の様子や障がい者との自然なつきあいなど、ヒントになるお話しをたくさん伺えるようです。

シティ・ライツとは「街の灯」の意味で、盲目の少女への愛を描いたチャップリンの名作映画の題名から取りましたと、たしか、暑い盛りの頃この番組に登場した代表の平塚さんが話しておりました。シティライツの活動や、音声ガイド付きの観賞会もある調布シネマサロン、来年3月にある調布映画祭のことなどは、次のホームページをチェックして下さい。

<http://www.ne.jp/asahi/city/lights/>

<http://www.chofu-culture-community.org/>

放送には出ない話ですが、石川さんは、シティライツの以外にも、

- * 調布映画祭実行委員会（ボランティア）：委員
- * ComPort：パソコン関係の情報交換会。
障がい者のパソコンサポートの会から出発。
- * 調布まちづくりの会：一応会員

など、多彩な市民活動をやっているようです。

今度の「調布わくわくステーション」

お客さまは 布多天神社・神主 吉川 雅晴さん

放送予定は 12月26日（日）

<調布 FM 83.8MHz>

<12時30分～12時40分>

新選組に湧いた今年も残り少なくなり、わくわくステーションも今年最後の放送になりました。

布多天神社は延喜式神名帳（10世紀）に記載がある古社です。布田五丁目の府中崖線に、古天神と呼ばれる小さな公園がありますが、天神社は昔、ここにあったのだそうです。

ところが、多摩川がたびたび氾濫するのに懲りて、五百数十年前に現在地に移転したのだと云われています。

吉川さんは外資系会社のサラリーマンから勉強し修行して神官を志した珍しい経歴？の持ち主。外国人に接する機会が多かったので、かえって、日本の神道に惹かれたのかも知れませんね。

初詣も近づきましたが、神社へ参拝する時は、神域に入る前、鳥居の所で一礼し、左右の手を水で清め、口をすすいでから柄杓を柄まで流し洗いし、やおら神殿に向かう、礼拝は二礼二拍手一礼、等々、マナーについても色々お話し頂けるそうです。・・・初詣の混雑では、そうも行かないかも知れませんが。

2-5 三者懇談会資料

三者懇談会(仮称)(やあやあネット、相互塾(まち会)、みんなdeねっと)について

【提案理由】みんなdeねっと より

みんなdeねっと が活動していくうちに、調布FMに出演して頂いているゲストの人数が増えてきました。ゲストの方は、市民活動をしていらっしゃる方・サークル活動をしていらっしゃる方・音楽家・商店の方・スポーツ選手選手・ボランティアの達人・教育者・会社経営等...多岐に渡っています。この貴重な調布の財産から何かできないだろうかと考えたのが、三者懇談会を呼びかけるきっかけでした。今まで、ゲストに出ていただいた方の中で、ネットワークを一つの特徴としている二つの団体(やあやあネット・相互塾(まち会))にお声をかけ、調布市の中で横に繋ぐ幅広いネットワークが構築され、活動が生まれるきっかけができないだろうかと提案いたしました。

【経過】

今まで、下記のように3回合同の会合を開いております。まだ、方向性や合意形成に達するまでに至っておりませんが、毎回集まって情報交換することによってFace to Faceの関係を築きながらまた各メンバーリストを通じて呼びかける事により、少しずつ広がりを見せてきています。今後もこのような会合を繰り返しながら方向性の模索と可能性を探っていきたいと考えます。

(第1回三者懇談会)

- 日時： 10月10日(日) 10時~12時
場所： 総合福祉センター
出席者： 5名
内容： 1 みんなdeねっとより提案理由説明
2 意見交換

(第2回三者懇談会)

- 日時： 10月22日(金) 19時~20時30分
場所： 総合福祉センター
出席者： 4名
内容： 1 各グループよりご意見
2 意見交換

(第3回三者懇談会)

日時： 11月22日(月)19時~21時

場所； 調風

出席者： みんなdeねっと2名

相互塾 4名

やあやあネット 6名 合計12名

内容： 1 自己紹介と相互の懇親

2 相互の懇親

確認： 1 こうした様々な、ネットワーク同士が繋がりを持つのは 楽しい。= 共通認識

2 今後、機能的な繋がりになるかもしれないが、あまり最初から形をつくろうとせず、横の連携をゆっくりと自然体で熟成していく。

3 今後は三者が持ち回りで懇談会を設営、設営テーマも幹事役にお任せで、しばらく懇談会を開催する事とする。

4 次回幹事役 やあやあネット(1~2月頃を予定)

【参加者・メンバーからのご意見・ご感想】

楽しい会でした。お世話になりました。複数会合だったので大声で話さなければならず、みまさんお疲れになったのでは？少しずつ皆さんそれぞれのお働きがわかってきました。今後ともどうぞよろしく・・・。Aさんより

Iです。

昨日は、楽しく会談させていただきました。ありがとうございます。調布にこんなに色々な素敵な団体があることを知り、嬉しくなりました。これから、どんな動きになっていくのか、とても楽しみです。どうぞ、よろしく願いいたします。

昨日の三者懇談会の報告ありがとうございます。

次回は是非参加したいです。Kさん

次回三者懇談会には、是非出席したいと思います。 K氏より